

# 愛知県豊田市

【3期計画：平成30年4月～平成35年3月】

- ・明治～：養蚕・製糸業を中心に発展。
- ・昭和～：生糸の需要減に伴い町も衰退。再生をめざし、自動車産業の誘致に取り組む。その後自動車産業とともに町も発展。我が国を代表する産業拠点に成長。
- ・平成17年に7市町村が合併 人口425,718人（平成29年豊田市住民基本台帳） 面積918.32km<sup>2</sup>

## 【前期計画（平成25年4月～平成30年3月）の概要】

- 豊田市駅前通り北地区再開発事業における商業・居住等の複合施設(KiTARA)の整備やあそべるとよたプロジェクトによる広場活用の取組が着実に進み、時間消費型の都市機能が充実されてきている。
- 高齢化の進行、頻繁に来街する市民の減少、周辺市町への大型商業施設の开店及び新たな出店予定などにより、市民の中心市街地離れが懸念される。

## 【中心市街地の課題等】

- まちなかにぎわい創出  
まちなかの歩行者通行量は、早朝や夜間の通勤・通学者が増加しているものの、昼間の回遊者が伸び悩んでいる。また、市民へのニーズ調査によると、約8割が自動車で来街しており、自動車利用者の利便性を高めつつ、まちなかの魅力を高め、来街の促進を図る必要がある。
- 公民連携による活性化  
まちづくりの担い手を育成し、持続的なエリアマネジメントを推進するため、公共的空間の一層の活用を含め、公民連携による活性化事業を展開していく必要がある。

## 【目指す中心市街地の都市像】

### 緑の環境都市軸(スタジアムアベニュー)の創造

## 【前期計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値
活かすにぎわいの創出	平日歩行者通行量	72,230人/日 (H23)	73,820人/日 (H29)	82,183人/日 (H28: 達成見込)
	休日歩行者通行量	63,094人/日 (H23)	65,970人/日 (H29)	72,369人/日 (H28: 達成見込)
	居住人口	12,715人 (H23)	13,140人 (H29)	13,086人 (H29: 未達成)

## 【新計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値
まちなかにぎわい創出	歩行者通行量 (昼間9～17時)	31,507人/日 (H28)	32,584人/日 (H34)
	フリーパーキング対象駐車場の総利用時間 <sup>(※1)</sup>	601万台・時間 (H28)	700万台・時間 (H34)
公民連携による活性化	公共的空間の利用率 <sup>(※2)</sup>	27.2% (H28)	36.5% (H34)

※1 買い物等を条件に駐車が3時間無料になるフリーパーキングシステムの合計利用時間

※2 まちなか広場6箇所(シティプラザ、ペDESTリアンデッキ広場、豊田市駅西口デッキ下、ギャザ南広場、参合館前広場、コモ・スクエアイベント広場)の年間利用率

### まちなかにぎわい創出

#### 【主要事業】

- ・まちなかにぎわい・回遊性向上事業
- ・まちなかコミュニティ施設連携事業
- ・低炭素社会モデル地区整備事業
- ・新豊田駅東口駅前広場整備事業
- ・駐車場利便性向上事業
- ・豊田市駅西口ペDESTリアンデッキ整備事業
- ・商店街にぎわい創出支援事業
- ・公共空間等整備事業

### 公民連携による活性化

#### 【主要事業】

- ・公共的空間活用等研究事業
- ・エリアマネジメント推進組織((一社)TCCM)によるまちづくり及びプロモーション事業
- ・まちなかにぎわい・回遊性向上事業【再掲】

# 豊田市中心市街地活性化基本計画の事業概要

## まちなかにぎわい創出

①まちなかにぎわい・回遊性向上事業  
商業者を始めとするまちなかの関係者が集客イベントに合わせた来街者への割引などを行う事業(まちなかサポーター店)等を展開し、にぎわいの創出と回遊性の向上を図る。



②まちなかコミュニティ施設連携事業  
桜町地区に整備された飲食店、チャレンジショップ、レンタルスペース機能を備えた施設を活用し、子育て世代が集い、交流できる場や趣味を活かした物品販売等の場を提供し来街促進を図る。



③低炭素社会モデル地区整備事業  
とよたエコフルタウンにおいて、水素ステーション、スマートハウス等の最新の技術に関する情報発信を行い、来街促進を図る。

④新豊田駅東口駅前広場整備事業  
円滑な交通の確保とイベント利用をするために芝生、ベンチ等の憩える空間や水道、電気等の設備を備えた駅前広場(交通施設・広場施設)を整備する。

整備イメージ



⑤豊田市駅西口ペDESTリアンデッキ整備事業  
鉄道、バス等の利用者の円滑な移動空間を確保するとともに、商業施設等の周辺施設と一体的に利用されるにぎわい・憩い空間として整備する。

⑥駐車場利便性向上事業  
まちづくり会社と連携し、車番認証カメラの設置等による混雑駐車場の渋滞緩和、家族で利用できるトイレの充実等の環境整備、利用の平準化に向けた駐車場案内システムの充実を図る。

中心市街地人口：13,086人(平成29年)

中心市街地区域：196ha



中心市街地全体で実施する事業

①、⑥、⑦、⑧

中心市街地区域 ● 公共的空間6箇所

## 公民連携による活性化

⑦公共的空間活用等研究事業  
桜城址公園での月1回のマーケット開催等、にぎわい創出のための公共的空間活用の促進により、まち歩きの楽しさの創出及び回遊性の向上を図る。



⑧エリアマネジメント推進組織『一般社団法人TCCM』によるまちづくり及びプロモーション事業  
地域住民・事業者等と連携し、中心市街地エリアの価値を向上させる事業(公共的空間の活用事業等)及びまちの楽しみをつくる、魅力を発信する事業(情報発信事業等)を実施し、エリアマネージメントを推進する。